

会 議 録

1 会議名

第3回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)報告（公開）

ア 会長報告

（報告なし）

イ 委員報告

・地域協議会と中学生との意見交換会について

ウ 市からの報告

・次期総合公共交通計画の策定について

・出張なんでも懇談会における質問事項等について

(2)協議（公開）

(3)その他（公開）

ア 次回の開催日時等について

イ 地域協議会委員研修の開催について

3 開催日時

平成30年7月25日（水）午後6時30分から午後7時20分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐広美副会長、池田幸博、市村一雄、杉田和久、西山康博、藤田宏経会長、
村松進副会長、和栗恵子

・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、長谷川次長、総務・地域振興グループ岩野グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ齊藤班長、市民生活・福祉グループ五井野グループ長、太田上席保健師長、教育・文化グループ渡邊グ

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・出席者は8人。欠席委員は金子百合江委員、福井克利委員、前島邦子委員、村松清委員。
- ・会議録の確認：池田幸博委員へ依頼。

【藤田会長】

それでは、次第に沿って進める。「2 報告」で「(1) 会長報告」は特に持ち合わせていない。続いて、「(2) 委員報告」で、委員の皆様から何かあれば報告をお願いします。

【村松進副会長】

私から「地域協議会と中学生との意見交換会について」報告させていただく。

(資料1に沿って説明。)

【藤田会長】

今の報告に対して委員の皆さんからの質疑等ないか。

(会場内より「なし。」の声)

中学生との意見交換会において、対象生徒が2年生から1年生になったことと、ワークショップの前に現地視察を行うという2つの変更があった。村松進副会長には実行委員長としてまとめていただき、進行をお願いします。

続いて、「(3) 市からの報告」で「① 次期総合公共交通計画の策定について」説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(資料2に沿って説明。)

【藤田会長】

今の説明に対して皆さんからの質問、意見を受ける。

【市村委員】

月影・下保倉・末広ルートで1日13便、直江津・浦川原線で1日18便と記載されているが、1日にこれだけの便数が運行しているということで間違いはないか。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

間違いはない。

【藤田会長】

他にないか。

【村松進副会長】

私も今回から浦川原区公共交通懇話会の委員に就任したが、「人が乗らない」、「収支が合わない」等言われている。私も数名の知人に路線バスのことについて聞いてみたが、「不便だ」、「運賃が高い」、「直江津方面に向かう際、バスは途中で降りられるという点は良いが、電車は運賃が安い」といった利便性の問題があった。また、高齢者の交通事故が増えており、運転免許証を自主返納しなさいとテレビ等でも報じられているが、運転免許証を自主返納した際にこの交通体系で良いのか。税金等で補助されているのはわかるが、浦川原、安塚、大島区から直江津へ行く場合にどれだけバスを乗り換えて、どれだけの時間を使って行くのかといったことも検証してもらいたいと考えている。

路線バスを維持するため税金等が投入され、市の財政を圧迫し大変だと思うが、公共交通機関は高齢者の足になっているので、そういった面も考えていただきたい。

【藤田会長】

他に何かないか。

【池田委員】

今説明があった、「浦川原区の主な路線バスの状況」で、「2 利用者数と市補助金の推移」の表の左側に、直江津・浦川原線の折れ線グラフがあるが、平成28年から平成29年の利用者数が約6,000人増え、同様に市補助金も増えている。つまり、利用者がこのくらい増えても市補助金が増えるといった焼け石に水というような捉え方でよいか。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

平成28年から平成29年の直江津・浦川原線の利用者が約6,000人増え、市補助金も増えているとの質問だが、この市補助金が増えた理由は、今ほど説明したとおり国庫補助対象路線が補助対象外になったことに起因して、市補助金が増加したということである。

【大坪所長】

本日は、次期総合公共交通計画を策定するといった説明であり、「こうなる」とか、「こうしていく」ということではない。今後、いろいろなご意見をいただくと思うが、今の村松進副会長のご意見のほか、今回の出張なんでも懇談会でもご意見をいただいて

いる。様々なご意見を聞きながら、公共交通が地域にとってどのような在り方が良いのかということ、平成32年度からの新しい公共交通計画を策定するために参考にさせていただきたい。

今後、公共交通懇話会を開催し、結果についても地域協議会に説明することも多くあると考えられ、地域協議会からご意見をいただく場面もあると思う。

我々の子どもの時代は、バスの時間に合わせて行動するということが良かったが、今は色々な部分で忙しく、現在の交通体系の中でバスを含めた公共交通をどうしていくか、高齢化も進行しているため今後を見据えた考えが必要である。交通事業者だけの経済的な話だけではなく、地域の皆さんの生活をどのように支え、色々なやり方を踏まえて取り込んでいくために、今後も忌憚のないご意見をいただければと思う。

【藤田会長】

資料2の右側に「支線における運行形態のイメージ」があるが、その中の運行形態【市の支援】の欄の路線バス、スクール混乗バスについては、浦川原小学校の統合に併せ一つの地域の乗合バスを活用しようといった確認がありこういった形態になったと思う。

その下の、乗合タクシー、自家用有償旅客運送、互助・自助による移送という3つの項目が公共交通の計画策定の上で、出てきたことについての背景をご説明いただきたい。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

現行の総合公共交通計画は、平成26年度から31年度が計画期間であり、この計画に則って路線バスを中心とした交通計画として定めたものである。

会長の言われた乗合タクシーや自家用有償旅客運送については、以前よりお話はあったと思われるが、現行の総合公共交通計画を策定する際には少数意見だったのではないかと想定される。

社会情勢が変化し、特に中山間地域や過疎地域では高齢者の交通事故等もあり、運転免許証を自主返納していくといった状況の中、乗合タクシー等の需要があるということで、次期計画の策定の際に、これらもひとつの移動手段として取り上げていくという検討材料であると思っている。

【藤田会長】

いろいろ検討されると思うが、よろしくお願ひしたい。

他にないか。

(会場内より「なし。」の声)

それでは次に「② 出張なんでも懇談会における質問事項等について」説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(当日配布資料に沿って説明。)

【藤田会長】

それでは細かく内容が記載されているので、この資料を参考にさせていただくというこ
とで一読していただきたい。

次に「3 協議」だが、皆さんから何かないか。

(会場内より「なし。」の声)

それでは「4 その他」で「(1) 次回の開催日時等について」だが、腹案では8月2
7日(月)の午後6時30分から浦川原コミュニティプラザで開催したいと考えている
が、よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

次に「(2) 地域協議会委員研修の開催について」説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(資料3に沿って説明。)

【藤田会長】

以前も地域協議会では、ほくほく線は大事な鉄道であるということで、研修会もさせ
ていただいた。今回、改めて北越急行の渡邊社長様から来ていただき、一般公開としな
がら我々の研修としたいということである。

これについて何か意見、質問等あるか。

(会場内より「なし。」の声)

それでは、11月28日(水)で時間は後日決定するので、浦川原コミュニティプラ
ザ市民ホールということで、予定していただきたい。

それでは、これで第3回地域協議会を閉会させていただく。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。